図書館だより 令和２年　11 月号　愛媛県立小松高等学校　図書委員会

校庭内の木々の緑が紅葉したと思っていたら、あっという間に、落ち葉の舞う季節となりました。日の暮れるのもすっかり早くなりました。皆さん、体調管理はできていますか。

さて、期末考査が始まります。３年生の皆さんにとっては、集大成の時期が近づいています。勉強はもちろんのこと、高校生活でより多くの良い思い出ができ、そして進路実現ができますようにお祈りいたします。

さて、冬の夜長は読書に最適の季節です。期末考査の合間に、読書をしませんか。本を借りに図書室に来てください。

☆ 朝の読書週間が実施されました。継続は力なり。読書を習慣にしてください。

時間を大切にしなさい。
読書の時間を大切にしなさい。
一冊の本との出会いが
あなたの生き方を変えてくれること
だってあります。

（ジョセフ・マーフィー）

☆１１月１３日（金）　全校集会「図書委員会発表より」

LL ブックとは

その国の言葉が読めない外国の人や、文字を読むのが苦手な人に、絵や写真を付けたり、難しい言葉は使わないようにして作られた、スウェーデン発祥の本のことでスウェーデンの言葉の Lättläst の頭文字を取って、ＬＬの名前が付けられました。

残念ながら、本校の図書室にはありませんが、公立図書館にはありますから手に取ってみて下さい。

今月は 11 月生まれの作者を紹介します。

本校図書館にありま

ミヒャエル・エンデ　【Michael Ende】 1929.11.12～1995.8.28

時間どろぼうと　ぬすまれた時間を
人間にとりかえしてくれた女の子のふしぎな物語

「モモ」（ミヒャエル・エンデ）作　（大島かおり）訳
岩波書店

（あらすじ）

廃墟となった円形劇場に住みついた、粗末な身なりをした少女モモ。街の人々は相談をし、モモの面倒を見ることになります。モモに話を聞いてもらうと硬くなった心が柔らかくなり悩みが消えていくのです。不思議な力を持つモモは、街の人にとってかけがえのない存在になっていきます。ところがある日、街に「灰色の男たち」が現れます。そして、彼らは街の人々に時間貯蓄銀行に口座を開くようにそそのかします。そして時間を「モノ」のように秒単位に切り刻み、そこでなされた行為や考えを無意味にしていくのです。すると時間をとられていく人々は、いらいらして冷たくなり、自分らしい生き方でなく、皆同じような生き方をするようになるのです。果たして、人々はどうなのか、、、、、。

（おすすめのポイントは）

★時間とは何なのか？物語ではこう語っています、「とてもとても不思議な、それでいてきわめて日常的なひとつの秘密があります。この秘密とは……それは時間です。」

ファンタジーですが、このとらえようのない謎のような時間というものが、この不思議なモモの物語の中心テーマです。世界中で愛され、読まれ続けているドイツ児童文学賞受賞作品です。是非読んでみてください。

★本の貸し出し期間は２週間です。返却日の過ぎた本は早急に図書室の持って来て下さい。